



笠間市議会議長

海老澤 勝 様

請願第 29-2 号

平成 29 年 5 月 22 日

請願者 住所 [REDACTED]
氏名 東海第 2 原発の再稼働を考える会
代表 [REDACTED]
ほか 2,737 人
電話番号 [REDACTED]
紹介議員 別紙のとおり

東海第 2 原発の「20 年延長申請」に反対する請願書

【請願の趣旨】

6 年前の福島第 1 原子力発電所事故を経験し、私達はたくさんのことを考えました。

事故が起これば私たちの命は脅かされ、生活自体が何年もの間、成り立たなくなります。特に、放射能に敏感な子どもたちは、明るい未来どころかその命が一生不安にさらされることとなります。原子力発電所（以下原発）に全く責任のない子どもたちの命が保障されないのは、理不尽です。

安全と言われ続けてきた原発が、事故を起こしたのです。命より経済を優先し、地震国である日本で原発を稼働させることは、私たちみんなの未来が奪われることになりかねません。

東海第 2 原発は、東日本大震災以来運転を停止しています。国の原子力規制委員会は、原発の寿命を原則「40 年」と定めています。東海第 2 原発は、来年平成 30 年 11 月をもって寿命の「40 年」になるにもかかわらず「20 年運転延長申請」を今年 8 月～11 月に原子力規制委員会に提出しようとしています。

古くなった原発を稼働させることは、重大事故を引き起こす可能性を増やし、私たちの生活をますます不安にさせるものです。日本原子力発電株式会社（以下日本原電）は、「東海第 2 原発の安全対策を実施した」と言っていますが、それで安全が確保されたとは考えられません。事故が起きてからでは、遅いのです。

東海第 2 原発から 30 キロ圏内に住む笠間市民は約 36,000 人です。過酷事故が起きたとき、避難先は栃木県の 5 市町となっていますが、たとえ避難できたとしても避難先での生活がどのくらい続くかわかりませんし、避難しなかった人にも、生命や生活の危機は続きます。近隣の住民は、東海村・水戸市・日立市・ひたちなか市・那珂市・常陸太田市合わせて約 96 万人にもなります。

私たちは老朽化し被災した東海第 2 原発の「20 年運転延長申請」に強く反対します。

つきましては、貴議会におきまして次の事項を採択していただきますよう請願いたします。

【請願事項】

東海第 2 原子力発電所の 20 年運転延長について

- (1) 日本原子力発電株式会社に、申請しないよう要請する意見書を出してください。
- (2) 茨城県知事並びに原子力所在地域首長懇談会（東海村・日立市・ひたちなか市・那珂市・常陸太田市・水戸市）の各首長に、申請に反対することを要請する意見書を出してください。

東海第2原発の「20年延長申請」に反対する請願書

紹介議員

萩原 瑞子

菅井 信

畑岡 洋二

西山 猛

橋本 良一

石井 栄